

木で暮らしと社会を豊かにするモノ・コトを表彰

『ウッドデザイン賞2021』受賞作品が決定！

～第7回となる今年度は、幅広い分野から191点が受賞～



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2021

2021 - 10
PRESS RELEASE

ウッドデザイン賞運営事務局

10月14日（木）

10月14日（木）、「ウッドデザイン賞2021」の受賞作品191点が選出されました。ウッドデザイン賞は、木で暮らしと社会を豊かにするモノ・コトを表彰し、国内外に発信するための顕彰制度です。受賞作品の一覧は「別添1、2資料」をご参照ください。

第7回となる今回は6月21日から7月30日まで作品を募集し、応募総数433点が集まりました。本日発表された作品は、書類による第一次審査、審査委員会（委員長：赤池学）による第二次審査を経たものとなります。審査委員は、建築家の隈研吾氏、プロダクトデザイナーの益田文和氏、コミュニティデザイナーの山崎亮氏ほか、各分野の第一線で活躍中の方々によって構成されています。7年目を迎え、今回も幅広い分野からの応募があり、多様なステークホルダーが協働したものの、木材の魅力を活かした空間や機能性と美を両立した木製品など、多くの優れた作品が受賞しました。今後は、ウッドデザイン賞を受賞した191点の中から最終審査を行い、最優秀賞（農林水産大臣賞）1点、優秀賞（林野庁長官賞）数点、奨励賞（審査委員長賞）数点を11月24日（水）に発表いたします。



受賞作品の一部：上段左から「ZOZO本社社屋」「morinos」「魚津市立星の杜小学校」「組子「麻の葉ちらし」シリーズ」
下段左から「木製の冷凍ご飯容器「COBITSU」」「TANZAKU Lamp」「モリまちスタンド in考えるパンKOPPE」
「日本の銘木BIM化 -オンラインでスマートフォンから閲覧し、3Dデータのダウンロードも可能。新しい購入のきっかけに-」

ウッドデザイン賞2021 総評（審査委員長 赤池学）

7回目となるウッドデザイン賞2021は新型コロナウイルス感染症の影響もあり応募が心配されたが、わずかながら昨年を上回る応募数となり、改めて御礼を申し上げたい。作品のクオリティもあがっており、建築・空間分野に象徴されるように、大手のみならず地域の企業の良質な取組が数多く見られた。特に木造・木質化施設を中心に、森林組合や木材店、飲食や移動までも含めた多様なステークホルダーが集う作品があり、地方創生に資する新たなウッドデザイン賞の台頭を感じさせた。一方で木製品は厳しめの結果になった。単に木で作ってみた、ではなく、例えばポストコロナの暮らし方、働き方の提案につながるようなデザインに期待したいところである。取組自体は素晴らしいが、製品や空間のクオリティをさらに上げていく必要があると思われる作品も多かった。多様な事業者、地域、デザイナー・設計、研究機関等の協働・協業による「戦略的な企みの実践」が、ウッドデザイン賞の価値をさらに向上させ、社会的意義のある木材利用の促進につながると思っている。

※リリース・広報に関するお問い合わせ先

審査員や受賞者への取材もコーディネートいたします。
ご希望の方は是非、下記問い合わせ先へご連絡ください。

ウッドデザイン賞運営事務局

（担当：ユニバーサルデザイン総合研究所 高橋、木俣）

E-mail : press2021@wooddesign.jp

※受賞作品に関するお問い合わせ先

ウッドデザイン賞応募受付担当

E-mail : info2021@wooddesign.jp

※電話でのお問い合わせは受け付けておりません

「ウッドデザイン賞2021」概要

■賞の構成

- ①最優秀賞 1点、②優秀賞 数点×3部門、③奨励賞 数点×3部門
 - ⑤ウッドデザイン賞 (入賞) 二次審査を通過したものすべて
- ※林野庁補助事業

■表彰部門

- (1) ライフスタイルデザイン部門 ～木を使って暮らしの質を高めているもの～
木を使うことで機能性や利便性を高めている、新しい領域で木の活用が提案されている、消費者に木のある豊かな暮らしを提案している、建築・空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。
- (2) ハートフルデザイン部門 ～木を使って人の心を豊かにし、身体を健やかにしているもの～
木を使うことで快適性を高めたり、五感や感性に働きかける、リラックス効果や健康増進効果がある、作り手や担い手のストーリー性を伝えている、建築・空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。
- (3) ソーシャルデザイン部門 ～木を使って地域や社会を活性化しているもの～
木を使うことで森林や地域の活性化に貢献している、持続可能な森林利用の仕組みを生み出している、木材利用の意味を啓発したり、人材育成をしている、建築・空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。

■応募分野・サブカテゴリ

- ①建築・空間・建材・部材分野・・・店舗、施設、オフィス、住宅、建材、部材など
- ②木製品分野・・・家具、インテリア、食器、日用品、雑貨、文具、遊具など
- ③コミュニケーション分野・・・ワークショップ、プロモーション、人材育成、ビジネスモデルなど
- ④技術・研究分野・・・技術、研究、調査、試作品など

■スケジュール

- 応募期間：2021年6月21日（月）～7月30日（金）
ウッドデザイン賞（入賞）結果通知・発表：10月14日（木）
最優秀賞、優秀賞、奨励賞発表：11月24日（水）
表彰式：12月8日（水）「エコプロ2021」（東京ビッグサイト）にて実施
※新型コロナウイルスの影響により、予定が変更にある場合があります。

「ウッドデザイン賞2021」表彰式、受賞作品の展示、セミナーにつきまして

最優秀賞等の表彰、及びウッドデザイン賞の受賞作品の展示を「エコプロ2021」（表彰式は2021年12月8日、展示は12月8～10日・東京ビッグサイト）にて行います。同展では受賞者によるプレゼンテーション、交流会なども企画予定です。

※新型コロナウイルスの影響により、予定が変更になる場合があります。

詳細は順次、ウッドデザイン賞公式ウェブサイト (<https://www.wooddesign.jp/>) にてお知らせいたします。



※写真は「ウッドデザイン賞2019」エコプロ2019での表彰式、展示、セミナーの様子（2020はオンライン表彰式）